

1 - 2 秋田市 - 釜石市間の上下変動

Vertical Movements between Akita and Kamaishi

国土地理院地殻調査部
Crustal Dynamics Division,
Geographical Survey Institute

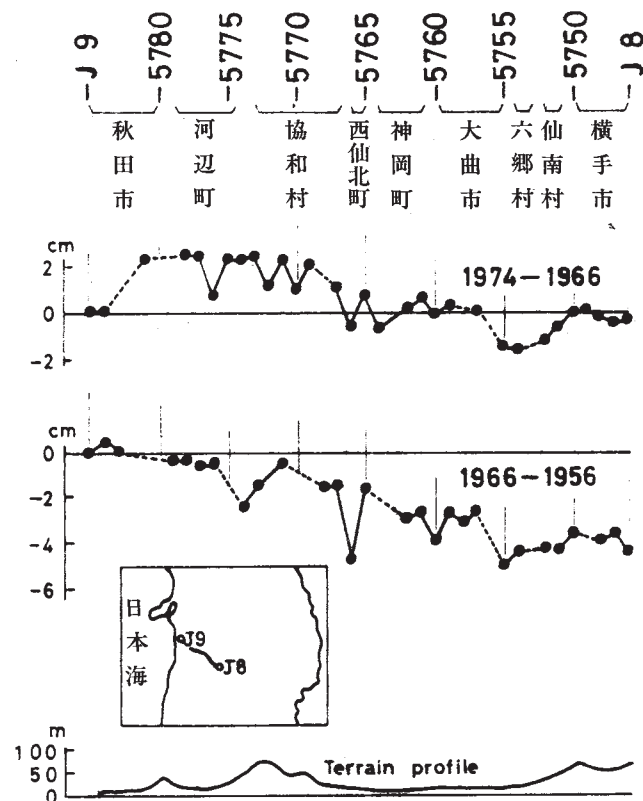
秋田, 釜石間の水準測量結果について報告する。

第1図 秋田, 横手間においては, 内陸から日本海に向けて隆起の傾向にあり, 日本海沿岸部の上昇現象が明治以来, 依然として持続しているようである。

第2図 横手, 北上間においては, 1970年10月の秋田南東部地震の変動がそのまま残ってはいるが, その後の変動はあまり見うけられない。

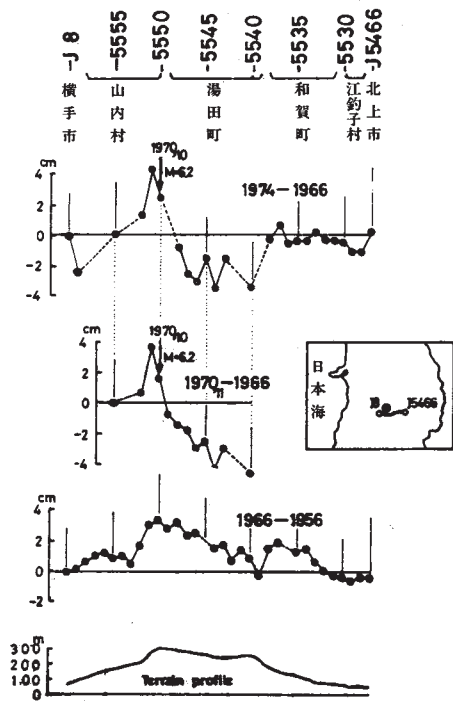
第3図 北上, 釜石間においては, 内陸部から太平洋岸に向って沈下量が大きくなっている。三陸沿岸は1933年3月の三陸沖地震の後約3mm/yearの割合で沈下を続けている。

なお, この現象は三陸沿岸の検潮結果 (第4図) と一致している。



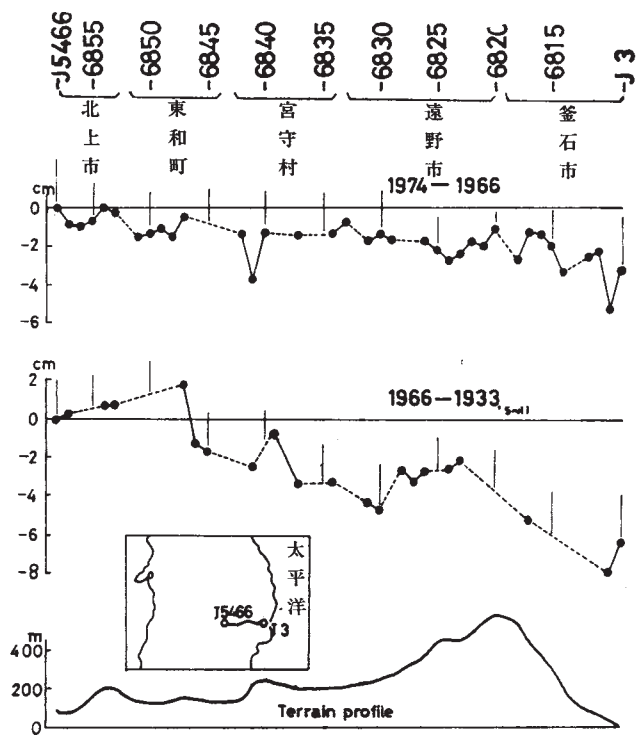
第1図 秋田市 - 横手市間の上下変動

Fig. 1 Vertical movements between Akita and Yokote.



第2図 横手市-北上市間の上下変動

Fig. 2 Vertical movements between Yokote and Kitakami.

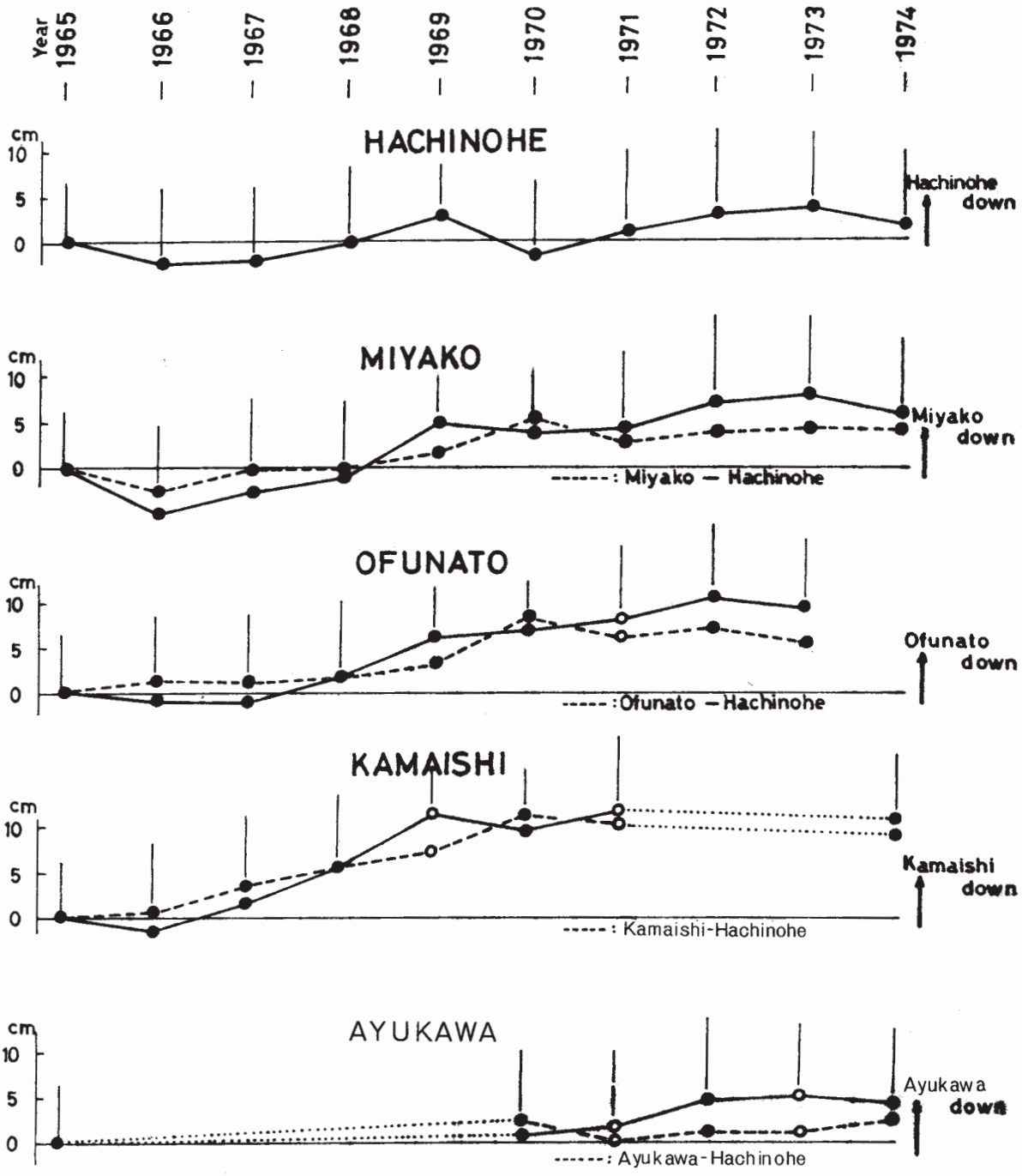


第3図 北上市-釜石市間の上下変動

Fig. 3 Vertical movements between Kitakami and Kamaishi.

— 1965年の各検潮場を基準とした年平均潮位差
 - - - 1965年の八戸を基準とした年平均潮位差
 ○ 2ヶ月以内の欠測

— referred to the 1965 value of each station.
 - - - referred to the 1965 value of Hachinohe.
 ○ No records for less than two months.



第4図 三陸沿岸検潮場年平均潮位差

Fig. 4 Annual mean tidal differences at tidal stations along Sanriku Coast.